

光ファイバ整備の円滑化のための収容空間情報等の開示の在り方に関する検討会（第4回）
議事要旨

1. 日時

令和6年3月18日（月）11:00～12:10

2. 場所

Web会議

3. 出席者（敬称略）

（1）構成員

新美座長、関口座長代理、江黒構成員、桑津構成員、神保構成員
池田構成員（株式会社NTTドコモ）、井上構成員（東日本電信電話株式会社）、
小林構成員（エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社）、
佐々木構成員（一般社団法人電気通信事業者協会）、
鈴木構成員（ソフトバンク株式会社）、関川構成員（KDDI株式会社）、
藤本構成員（西日本電信電話株式会社）、鬼木構成員（送配電網協議会）、
笠原構成員代理（東京電力パワーグリッド株式会社）、
松本構成員（関西送配電株式会社）、安部構成員（東日本旅客鉄道株式会社）、
富岡構成員（一般社団法人日本民営鉄道協会）、
伴構成員（西日本旅客鉄道株式会社）

（2）オブザーバ

関係府省：

内閣府規制改革推進室、資源エネルギー庁電力基盤整備課、国土交通省鉄道局技術
企画課

要望事業者：

株式会社TOKAIコミュニケーションズ、ビー・ビー・バックボーン株式会社

（3）事務局（総務省）

木村電気通信事業部長、井上料金サービス課長、堀内基盤整備促進課長、竹内料金サ
ービス課課長補佐、小川基盤整備促進課課長補佐、岡本基盤整備促進課係長

4. 議事

（1）事務局説明

（2）意見交換

5. 議事の経過

事務局より第1回から第3回会合までの議論を踏まえた論点整理案について説明が行われ、
意見交換を行った。論点整理案について、構成員及びオブザーバから異論は無かった。その他

会合の中における主な意見の概要は次のとおり。

- ・ 前回会合における質問事項に対するデータセンター事業者からの回答については、具体的な内容の説明がない印象である。
- ・ 前回会合における質問事項について、データセンター事業者からの回答については、事務局の補足を踏まえ、米国・英国・フランスで状況が異なる点も理解した。今後も、海外情報について参考にできるものがあれば共有いただきたい。
- ・ 論点整理案について、実現可能性・コスト面・スピード感・セキュリティ面等の様々な課題があったが、非常にバランス良く整理されている。論点整理案に異論無し。
- ・ 一部の事業者から提案のあった、設備の使用申請時のコンサルティングは非常に良い案だと感じた。有料になると思うが、是非やっていただきたい。コンサルティングの過程で悪意のある事業者の排除もできると思う。また、要望事業者から利用計画や自社のネットワーク環境がどのようになっているか等を開示元事業者に対して開示する取組はとても重要。
- ・ 専門的であったり、セキュリティの観点も収集しにくい情報であったりするにもかかわらず、きめ細かくまとめていただいた。論点整理案に異論無し。特にセキュリティの観点で開示が難しい部分は相対で対応いただくこととなるが、具体的な手続については、費用負担等を考えていく必要があるものの、調査回答の迅速化や代替ルート案の提示、コンサルティングサービス等の柔軟性も考慮できたように思う。フォーマット等の細部は事業者間で詰めていただきたい。
- ・ 論点整理案について、よくまとめられ、論点の絞り込みもできていると思うので、特に異論はない。この方向でまとめていくことに賛成。一点、セキュアなプロセスを進めるという点において、様式の共通化やWEBによるオンライン化を通じて、セキュアなレベルが高い形で仕組みが整備されるべきという趣旨の一言を加えておくことが重要。せっかくこうした情報開示の仕組みを作り上げたのに、それ自体が脆弱であると、これまで議論した内容が根底から崩れてしまうので、出来上がる仕組みのセキュリティレベルを高めていく趣旨の文言を加えていけば良い。
- ・ 論点整理案に異論無し。コンサルティングサービスを含め、要望事業者のご要望を踏まえ、協議を進めてまいりたい。
- ・ 具体的な部分についてどこまで出来るか、今後検討してまいりたい。
- ・ 開示元事業者と要望事業者間での協議の場について、要望事業者については本検討会に参加している２者以外の者も今後加わる形で議論を進めていくのか。（事務局より、要望事業者と

して本検討会に出席している２者には引き続きご参画いただきたいが、その他に加えた方が
良い事業者がいればご提案いただきたい旨及び事業者間協議の構成は今後柔軟に検討したい旨、
回答。)

※本日の意見を踏まえ、論点整理案の今後の修正は新美座長一任となった。

以 上